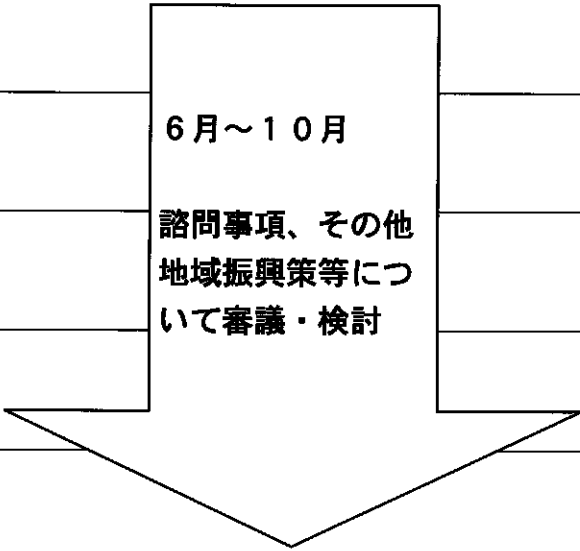


(案)

平成 27 年度地域審議会のスケジュール

年 月	内 容	
5月下旬～ 6月上旬	第1回 地域審議会 ・スケジュールの説明 ・新市建設計画関係予算等の説明 ・答申に対する市の取り組みについての説明 ・報告事項	
6月		
7月		
8月		項目及び概要の 中間とりまとめ
9月		
10月		答申書とりまとめ
11月	市長答申	
12月		
28年1月		
2月		
3月		

平成27年度新市建設計画関係予算

(単位:千円)

地域	区分	具体的事業名	事業費	合併特例債
夢前町	経常	夢さきふるさとまつり事業	5,000	0
		置塩城まつりの開催	2,000	0
		ケーブルテレビ運営	123,322	0
		佐野邸保存管理	978	0
		地域審議会の運営	1,579	0
		小計	132,879	0
	投資	庁舎等の整備(菅野サービスセンター)	22,000	18,000
		夢前ケーブルテレビ整備事業	324,000	0
		市民センター等の整備〔(仮称)北部市民センター〕	444,000	418,000
		保育所の整備事業(前之庄保育所)	91,000	86,400
		合併処理浄化槽整備事業	1,000	0
		夢のさと農業公園整備	3,000	0
		林道整備事業	13,000	12,300
		道路新設改良事業(前之庄神種線ほか5路線)	335,800	318,700
		橋りょう改良事業(新庄橋ほか1カ所)	105,000	99,700
		河川改修事業	37,000	35,100
		公民館整備事業	207,000	190,900
		園舎、校舎等リニューアルの推進〔置塩小学校校舎、古知小学校運動場、鹿谷中学校校庭、菅野中学校校庭、体育館等吊天井対策(置塩小学校他6校)〕	581,598	187,800
		置塩城跡調査・保存整備	26,000	22,700
		小計	2,190,398	1,389,600
合計	2,323,277	1,389,600		

具体的事業素案等の状況(26年度末実績)

《夢前地域》

目標	事業名	具体的事業素案等名	区分
1	道路新設改良事業	仮称クルス線	
		山富糸田線	事業中
		神種峠小坪線	
		山富5号線	
		糸田岡七廻り線	事業中
		神種馬谷線	
		清水谷寺線	事業中
		前之庄神種線	事業中
		古知之庄塩田線	
		宮置2号線	
		寺46号線	完了
		東堤防線	終了
		菅生澗31号線	完了
		天神線	完了
		菅生澗15号線	
		山富10号線	
		古知之庄8号線	完了
		寺6号線他2路線	
	※ 寺1号線	完了	
	橋りょう改良事業	※ 山之下橋	完了
		※ 岡学校橋	
		※ 立船野橋	事業中
		※ 学校橋	事業中
		※ 新庄橋	事業中
	橋りょう耐震化事業	※ 新橋	完了
		※ 滑原橋	完了
		※ 新中橋	完了
		※ 古新橋	完了
		※ 庄屋橋	完了
		※ 鯉尾橋	完了
		※ 岡橋	完了
		※ 中岡橋	完了
		※ 柳谷橋	完了
		※ 馬谷橋	完了
		※ 白川橋	完了
		※ 公園橋	完了
※ 鹿谷橋		事業中	
※ 戸倉橋		完了	

「※」は、合併後に追加した事業

《夢前地域》

目 標	事業名	具体的事業案等名	区 分
	上水道の安定供給事業	膜処理施設(塚本浄水場)	完了
		※ 膜処理施設(佐中浄水場)	完了
		配水管整備(佐中簡水)	完了
		配水池整備	
		※ 監視システムの整備	完了
	下水道の整備事業	処理場ポンプ場改修事業	
	河川改修事業	※ 宮川	完了
		※ 西小谷川	完了
		※ 柏森川	完了
		※ 通宝寺川	完了
		※ 芦田川	事業中
		※ 水谷川	完了
		※ 宗元川	完了
		※ 丸山川	完了
		※ 古瀬畑川	事業中
		※ 明王寺川	完了
		※ 山畠地内(排水路・水門)	完了
		※ 東山川	完了
		※ 中村奥谷川	完了
※ 裏掛川		完了	
2	公営住宅建替事業	公営住宅建替・改修事業(清水谷住宅)	完了
		公営住宅建替・改修事業(豊岡住宅)	
	保育所の整備事業	前之庄保育所の改修事業	事業中
	老人福祉センターの整備事業	塩田荘、すがの荘、雪彦荘改修事業	終了
	保健センター等の整備事業	※ 夢前保健福祉サービスセンター整備事業	完了
		夢前福祉センター建設事業【ばるむ】	完了
	防災施設の充実	※ 避難所看板設置	完了
		防災倉庫設置	完了
	通信手段等の整備	消防、救急無線の整備	完了
	耐震性防火水槽の整備	※ 耐震性貯水槽の整備	完了
		※ 飲料水兼用耐震性貯水槽の整備	完了
	消防団施設・装備の充実	消防団車庫等の整備	完了
		※ 消防団被服の統一	完了
3	公民館網の整備	中央公民館改修事業(前之庄公民館)	
		※ (仮称)上菅公民館	事業中
		※ 古知公民館	事業中
	図書館網の整備	図書館網の整備	完了
		※ 図書館の整備	完了
	園舎、校舎等のリニューアルの推進(公共施設の耐震対策の推進を含む)	置塩小(校舎)	事業中
古知小(校舎)		完了	

「※」は、合併後に追加した事業

《夢前地域》

目標	事業名	具体的事業案等名	区分	
		菅生小(校舎)	完了	
		菅野中(校舎)	完了	
		鹿谷中(体育館)	完了	
		菅野中(体育館)	完了	
		※ 体育館等吊天井落下防止対策	事業中	
		※ 上菅小(運動場)	完了	
		※ 古知小(運動場)	事業中	
		※ 前之庄幼(園舎)	事業中	
		※ 夢前学校給食センター施設改修	完了	
	学校教育施設整備事業	置塩小(水泳プール)	完了	
		前之庄小(水泳プール)	完了	
		山之内小(プール機器)	終了	
		菅生小(水泳プール)	完了	
		鹿谷中(水泳プール)	完了	
		菅野中(水泳プール)	完了	
	学校情報化の推進	パソコン整備事業	完了	
	スポーツ・レクリエーション施設の整備	※ 公立体育館の改修(武道館)	完了	
		※ グラウンド・テニスコート等の改修	完了	
	スポーツ・レクリエーション活動の啓発と参加の推進	※ 雪彦マラソン・ワンデーマーチ	終了	
		※ マウンテンボール大会	終了	
	歴史文化資源の保全・活用	置塩城跡調査・保存整備	事業中	
		置塩城周辺整備	完了	
		置塩城まつりの開催	事業中	
		佐野邸保存管理	事業中	
	地域交流の推進	豊岡自治会館改修事業	完了	
	4	農業生産基盤の整備	夢前川流域かんがい調査	終了
		都市農村交流施設整備	夢のさと農業公園整備	完了
		林業の振興	※ 林道整備事業	事業中
高度情報都市の構築		ケーブルテレビ運営	事業中	
		※ 夢前ケーブルテレビ整備事業	事業中	
直売所設置事業		農産物直売所等整備	完了	
観光情報拠点の整備		※ 観光案内サイン整備事業	完了	
5	歴史的・自然的観光資源の保全・活用	雪彦山キャンプ場の整備	終了	
	資源循環型社会づくり事業	※ ごみ分別・減量化推進事業 〔家庭ごみ分別区分の統一事業〕	完了	
		※ ごみ分別・減量化推進事業 〔ごみ収集車更新事業〕	完了	
	環境保全事業	合併処理浄化槽整備事業	事業中	
6	友好町村交流事業	三彦サミット	終了	
	観光イベントの実施	夢さきふるさとまつり事業	事業中	

「※」は、合併後に追加した事業

《夢前地域》

目標	事業名	具体的事業案等名	区分
7	電子市役所の構築	統合型地理情報システムの整備	完了
	管理システムの整備	下水道台帳管理システム	事業中
		農家土地台帳システム	完了
		土地情報システム	完了
	地域事務所の整備	拠点施設整備	完了
	庁舎の整備	旧町庁舎改修事業(夢前事務所)	完了
		旧町町民会館改修事業(北部市民センター)	事業中
		置塩支所改修事業	
	地域審議会の設置	地域審議会の設置	完了

「※」は、合併後に追加した事業

【資料 2】

答 申 書

平成26年11月19日

夢前地域審議会

答 申 書

平成26年（2014年）11月19日

姫路市長
石見利勝様

夢前地域審議会
会長 中塚和夫

新市建設計画の執行状況について（答申）

平成26年（2014年）4月30日付けで諮問のありました標記の件について、夢前地域審議会において審議した結果、下記のとおり答申いたします。

記

1. 産業廃棄物最終処分場の建設問題について（詳細別紙）
2. 産業・経済のさらなる振興について（詳細別紙）
3. 地域防災対策の充実と地域の実情に即応した整備の推進について（詳細別紙）

1. 産業廃棄物最終処分場の建設問題について（継続）

均衡と調和ある都市発展の観点から、産業廃棄物最終処分場の建設問題について、以下のとおり答申します。

【理由（経緯）等】

夢前町前之庄字庄司谷に建設が計画されている産業廃棄物の最終処分場は、周辺環境の壊滅的な破壊をもたらすこと、地域のまちづくりが停滞すること、住民の生命・健康に対する侵害のおそれが非常に大きいことから、最終処分場の建設問題については一昨年・昨年にも地域の懸念を踏まえた取り扱いが必要であると答申しました。

最終処分場への懸念は地域住民だけでなく、姫路市全域に広まり、これまでに13万筆以上の建設反対の署名が集まっております。

姫路市では、「姫路市廃棄物処理施設の設置に係る手続に関する指導要綱」が、形式面や運用面で検討すべき点や課題があるとして、事前手続の実効性や透明性、公平性を確保するとともに円滑に合意形成が図られるよう事前手続内容の充実を図るため「(仮称) 姫路市廃棄物処理施設等の設置等に係る手続の適正化及び紛争の予防、調整に関する条例」の制定に向けてパブリック・コメントを募集されました。

条例に規定されるべき、(1)生活環境の保全に配慮した指導を行うこと、(2)合意の形成が図られるよう努めること、(3)紛争の予防に努めること、(4)紛争について迅速かつ適正にその調整を図ることなどの市の責務については、要綱手続の上であっても当然に求められるものと考えます。

地域住民の産業廃棄物最終処分場への懸念で最も大きなものは生活環境の保全であります。条例案では、手続の進捗状況等の公表や事業計画書に添付する生活環境影響調査結果書の内容により関係地域を拡大できるようにするなど、事前手続の透明性や公平性など内容の充実を図るよう考えられておりますが、例えば、関係地域の範囲について施設の種類毎により一定距離を条例規則に定めるとするなど、条例の運用基準によりその内容は大きく変わります。

廃棄物の処理及び清掃に関する法律の要件に適合している場合には許可しなければならないものであるならば、より一層、生活環境の保全や申請者の能力について許可要件の慎重な審査が必要であると考えます。要件に適合しているとして許可された他の最終処分場で大気環境や水環境が問題となっている事例や排水処理を代執行しなければならない事例もあることから住民の不安は非常に大きく、地域の懸念が払拭されるまで許可すべきではないと考えます。

【具体的な答申内容】

〔新市建設計画本文に基づく事業〕

(1) 最終処分場の地域に及ぼす影響を考慮した取り扱い（継続）

2. 産業・経済のさらなる振興について（継続）

地域資源の有効活用による活性化の観点から、産業・経済のさらなる振興について、以下のとおり答申します。

【理由（経緯）等】

平成27年度には、いよいよスマートインターチェンジとこれに接続する市道置塩134号線（糸田岡七廻り線）が完成いたします。

地域では、姫路市の北の玄関口ができることにより、北部経済圏の活性化や地域経済の発展・雇用の創出、観光振興や市内外の都市部と夢前地域との交流の促進など大きな期待を寄せており、今後はこれを活用した新市建設計画に掲げる地域の整備が必要であると考えます。

夢前では、「食と農で結ぶ夢街道づくり」が進められているほか2015年2月には世界遺産姫路城マラソンが開催され、そのコースにもなっております。マラソンの開催には地域をあげて応援し、「おもてなし」をしていきたいと思いますが、スマートインターの完成やマラソンの開催を機会に道路標識や観光案内看板の整備など、地域の観光資源の再発掘と発信が求められます。

夢前地域には千年の歴史を有し国重文にも指定されている古刹や温泉、関西屈指の登山地として有名な雪彦山などの観光資源が数多くあります。

特に、マラソンコースの中間点近くの置塩城跡は、後期赤松一族の居城跡で国史跡に指定されている姫路市の重要な観光資源です。置塩城跡の保存計画の策定が進められておりますが、新市建設計画が5年延長される予定であることも踏まえて計画期間中の保存整備の完了が必要です。

また、夢前地域では主要な産業である農林業への有害鳥獣による被害が続いていることから、森林の整備と有害獣の個体数を減少させるなど、この対策を継続するとともに、夢前、安富、香寺など北部地域の魅力を生かした滞在型観光を推進するため、多様な観光を展開する必要があります。

【具体的な答申内容】

[新市建設計画本文に基づく事業]

- (1) 地域の観光資源の再発掘と、農林業との連携推進（継続）
- (2) 置塩城跡の保存管理計画の早期策定と整備・保存の実施（継続）
- (3) 有害鳥獣対策の徹底と農家が農業に熱意を持てる体制づくり（継続）

3. 地域防災対策の充実と地域の実情に即応した整備の推進について（継続）

均衡と調和ある都市発展の観点から、地域防災対策の充実と地域の実情に即応した整備の推進について、以下のとおり答申します。

【理由（経緯）等】

今夏は例年になく雨量の多い夏でした。特に8月20日には局地的な短時間大雨により広島県などで土石流災害の甚大な被害がありました。近年、地球温暖化の影響かもしれませんが、偏西風の蛇行異変と前線への湿気的大量流入で記録的な雨量となっております。幸いにも夢前地域での今夏の雨量はそれほどでもなく被害は発生しませんでした。ゲリラ的な集中豪雨は今後とも当地域においても危惧される所であり、平成23年度から自主防災組織体制づくり及び災害発生時の情報伝達並びに避難場所の確保、救援物資の備蓄などを答申してまいりました。

夢前地域は降雨があると時間的な猶予なく出水する地域特性があります。また、山間部で土砂災害警戒区域に指定されている箇所も多くあります。拠点避難所へ避難するためには危険な河川を横断しなければならない地区もあり、地域の事情に即した避難行動が求められます。

市指定の避難所には洪水ハザードマップで一階が使用できない可能性のあるところや土砂災害警戒区域内にあるところがあります。災害の種類においては機能しないわけではなく、また拠点避難所としての機能は他所では困難ではありますが、住民が災害時に地域事情や災害状況に即して適切な避難行動がとれるように各校区単位で進めている自主防災マップの作成を一層推進して住民の啓発活動に努めるとともに、自主防災会等が指定する一時避難場所への救援物資の配備も必要と考えます。

【具体的な答申内容】

〔新市建設計画具体的事業素案に基づく事業〕

（1）地域防災体制の推進（継続）

〔新市建設計画本文に基づく事業〕

（2）地域や家庭での市民の防災意識を普及、啓発と共に、安全かつ迅速な防災計画の整備（継続）

（3）一時避難所への救援物資の配備（新規）

1. 平成 26 年度 夢前地域審議会審議の経緯

	開催日	時間	内容・議題等
第 1 回	4 月 30 日(水)	14:00～	<ul style="list-style-type: none"> ・会長及び副会長選出 ・諮問 ・地域審議会の概要について ・地域審議会のスケジュールについて審議
第 2 回	5 月 30 日(金)	14:00～	<ul style="list-style-type: none"> ・新市建設計画関係予算等について報告 ・平成 25 年度答申に対する市の取り組みについて報告 ・新市建設計画の変更について審議 ・平成 26 年度答申に向け審議
第 3 回	7 月 18 日(金)	14:00～	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 26 年度答申に向け審議
第 4 回	8 月 19 日(火)	14:00～	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 26 年度答申に向け審議
第 5 回	10 月 15 日(水)	14:00～	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 26 年度答申に向け審議

2. 地域審議会委員名簿

(各号五十音順・敬称略)

		氏 名	備 考
第 1 号	公共的団体の代表 計 10 名	上 山 陽一郎	
		國 光 健 一	
		清 水 敬 造	
		鈴 木 信 義	
		関 暁 子	
		田 路 健 輔	
		田 路 裕 子	
		本 郷 貴 之	
		松 浦 鉄 昭	副会長
		吉 川 洋 子	
第 2 号	地方行政に識見を有する者 計 9 名	青 井 知 子	
		赤 松 照 子	
		大 江 廣 明	
		衣 笠 愛 之	
		草 別 貞 子	
		壺 坂 敏 子	
		中 塚 和 夫	会 長
		永 安 浩 三	
第 3 号	公募により選任された者 計 2 名	大 角 正 義	
		榎 木 一 人	

「第 1 号、第 2 号、第 3 号」は姫路市及び飾磨郡夢前町の廃置分合に伴う「地域審議会の設置に関する協議第 5 条第 2 項」の区分による

平成26年度夢前地域審議会
答申に係る市の取り組みについて

平成27年5月28日（木）
姫路市 総務局 総務部 夢前事務所

番号	答申項目	説明内容
1	産業廃棄物最終処分場の建設問題について	<p>産業廃棄物最終処分場の建設については、平成24年6月に事業者より事前相談票が提出されています。今後、申請があれば、許可権者として姫路市廃棄物処理施設の設置に係る手続に関する指導要綱及び廃棄物処理法に基づき、各要件について慎重かつ十分に審査を行っていきます。</p>

2	産業・経済のさらなる振興について	<p>平成19年度に地域の利便性の向上、産業、観光振興をめざし多くの市民の署名を添え要望していたスマートインターチェンジが本年10月に供用開始となることから、早急に地域の観光資源の再確認を図るとともに「食と農で結ぶ夢街道づくり実行委員会」への支援や、地域の魅力を情報発信していきたい。</p> <p>2月22日に世界遺産姫路城の「大天守保存修理」の完成を記念して姫路初のフルマラソン大会も開催し、夢前地域がコースに入るなど、周辺道路の整備、観光面等が整備された。平成27年度も同様のコースで開催し、多くの観光客の誘致につなげ、地域の活性化を図って参ります。</p> <p>置塩城跡保存管理計画策定については、平成27年度の策定完了を目指し作業を進めており、基礎資料となる史跡周辺の現況地形図作成も実施しています。</p> <p>また、現時点で唯一の史跡への登山道は見学者の安全確保の観点から早期に補修を行います。将来の保存管理を見据え、協働作業や「置塩城まつり」への参加を通じて、地元住民との連携にも努めています。</p> <p>有害鳥獣対策については、鳥獣害防止総合対策推進事業並びに有害獣侵入防止柵設置事業等を継続しており、平成26年度からはシカ肉処理加工施設「夢咲鹿工房」の運用開始や、捕獲したシカ個体を加工施設へ運搬する経費助成を行うことにより、捕獲活動とシカ肉の利活用を一体的かつ安定的に実施する体制の構築を図っています。農産物への獣害対策の推進は、今後も過去の実績や地元からの要望を的確に把握し、地元集落と行政、猟友会の三位一体による対策が必要不可欠であり、今後も既存事業を含め継続した取組が必要であると考えています。</p>
---	------------------	---